

(2019年 和歌山県公立入試 類似)

1. 院政                                      2. 公武合体                                      3. 親政                                      4. 摂関政治

類似)

- |                                                       |                                             |                                                  |                                                      |
|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 1. 自分の娘を天皇の妃とし、その子供を次の天皇に立てることで、母方の祖父や親戚として政治を補佐したため。 | 2. 地方の有力な武士団を直接組織し、反対する貴族や寺社を軍事的な力で抑え込んだため。 | 3. 天皇を退位させた後に上皇として院庁を開き、天皇に代わって政治の決定を下す体制を整えたため。 | 4. 地方の荘園の持ち主から土地の寄進を受け、その管理権を独占することで国家の財政をすべて掌握したため。 |
|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------|

試類似)

1. 朝鮮半島から移り住んだ渡来人を重用し、最新の稲作技術を東北地方に広めた。
2. 多賀城や胆沢城といった拠点を築き、軍事と行政の両面から支配を広げた。
3. 大陸からの侵攻に備えるため、九州沿岸部から防人を呼び寄せて東北を警備した。
4. 南蛮貿易による利益を確保するため、出羽国に大規模な港湾施設を整備した。

(2024年 大阪府公立入試 類似)

1. 法華信仰                      2. 淨土信仰                      3. 禪宗                      4. 本地垂迹

(2024年 奈良県公立入試 類似)

- |                                   |                                    |                                         |                                |
|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 仏教勢力が朝廷から完全に排除され、神道中心の政治へと移行した | 2. 地方の農民が武装を解除し、荘園制が崩壊して一国一城の主となった | 3. 武士が朝廷の権力争いを解決する力を持つ存在として、政治への影響力を強めた | 4. 貴族が政治の主導権を完全に取り戻し、律令制が強化された |
|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------|

すか。(2015年 富山県公立入試 類似)

1. 小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 最澄・空海の入唐 → 遣唐使の停止

。(2020年 大分県公立入試 類似)

1. 勘合貿易                      2. 日清貿易                      3. 日宋貿易                      4. 日明貿易

(2024年 島根県公立入試 類似)

1. 更級日記                      2. 枕草子                      3. 竹取物語                      4. 源氏物語

(2019年 長野県公立入試 類似)

1. 天平文化                      2. 飛鳥文化                      3. 弘仁・貞觀文化                      4. 国風文化

し。 (2023年 大阪府公立入試 類似)

1. 全国に国分寺や国分尼寺を建立することで、仏教の力によって国内の政情不安や疫病を鎮めようとした。
2. 奈良の寺院勢力などの宗教勢力が政治に介入することを防ぎ、律令制に基づいた天皇の権威を回復しようとした。
3. 壬申の乱という大規模な内乱を経て即位し、新しい都で天皇の絶対的な権力を確立しようとした。
4. 大化の改新によって蘇我氏の影響力を排除し、唐の律令制度を本格的に導入して中央集権体制を確立しようとした。

(2014年 和歌山県公立入試 類似)

1. 武家造                      2. 書院造                      3. 寢殿造                      4. 合掌造

(2016年 香川県公立入試 類似)

1. 禅宗                                      2. 法華經の信仰                                      3. 神仏習合                                      4. 浄土信仰

(2021年 神奈川県公立入試 類似)

1. 摂関政治                      2. 執権政治                      3. 武家政治                      4. 院政

(2025年 栃木県公立入試 類似)

1. 貴族間の対立を解決するために武力が必要とされた結果、武士が政治権力を握るきっかけとなった。
2. 北条氏が執権としての地位を確立し、全国の武士に対して御成敗式目（貞永式目）を制定した。
3. この戦乱の直後に源頼朝が征夷大将軍に任命され、鎌倉に武家政権が誕生する直接の原因となった。
4. 武士の勢力が完全に排除され、天皇を中心とする律令政治の仕組みが力強く復活することになった。

## 答え合わせ・解説

|     |                                                             |                                                                                                                                                                                      |
|-----|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 1<br>院政                                                  | 白河上皇が1086年に始めた政治体制です。それまでの藤原氏が摂政や関白として権力を振るった「摂関政治」とは異なり、天皇の位を後継者に譲ったあとの「上皇」が、独自の役所（院庁）を置いて実権を握り続けました。これにより摂関家の影響力を弱める狙いがありました。                                                      |
| 問2  | 答え 1<br>自分の娘を天皇の妃とし、その子供を次の天皇に立てることで、母方の祖父や親戚として政治を補佐したため。  | 藤原氏は「外戚（がいせき）」という血縁関係を基盤に権力を維持しました。自分の孫にあたる天皇が幼少の間は「摂政」として、成人してからは「関白」として政治を司り、実質的な最高権力者として振る舞いました。これは武力や法的な制度の変更よりも、天皇との個人的な血縁の結びつきを重視した政治スタイルです。                                   |
| 問3  | 答え 2<br>多賀城や胆沢城といった拠点を築き、軍事と行政の両面から支配を広げた。                  | 朝廷は東北地方への支配を進めるため、現在の宮城県に多賀城を、岩手県に胆沢城を築くなど、城柵と呼ばれる拠点を作りました。これらの施設は軍事的な防衛拠点であると同時に、周辺地域を治める行政機関としての役割も果たしていました。                                                                       |
| 問4  | 答え 2<br>浄土信仰                                                | 「末法思想」の影響で、現世での救いをあきらめ来世での幸せを願うこの信仰が流行しました。藤原道長が建立した法成寺や、その子の頼通が建立した平等院鳳凰堂は、この信仰に基づいて「この世に現れた極楽浄土」を表現しようとしたものです。                                                                     |
| 問5  | 答え 3<br>武士が朝廷の権力争いを解決する力を持つ存在として、政治への影響力を強めた                | 保元の乱や平治の乱は、もともと朝廷内の地位を巡る対立から始まりましたが、その解決に武士の軍事力が不可欠であることが示されました。これにより、それまで貴族の警護役としての側面が強かった武士が、中央政治の方向性を決定づけるほどの影響力を持つようになり、後の平氏政権や鎌倉幕府の成立へとつながる契機となりました。                            |
| 問6  | 答え 1<br>小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 最澄・空海の入唐 → 遣唐使の停止                | 7世紀初頭の飛鳥時代、聖徳太子によって小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣されました。その後、663年には百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵した白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北しました。平安時代に入ると、804年に最澄や空海が遣唐使とともに唐に渡り、新しい仏教を日本に伝えました。そして894年、菅原道真の提案により遣唐使が停止されることとなりました。 |
| 問7  | 答え 3<br>日宋貿易                                                | 平清盛は瀬戸内海の航路を整備し、大輪田泊（現在の神戸市）を改修することで、中国の宋との貿易を推進しました。この貿易によって大量の宋銭が日本に流入し、貨幣経済が普及するきっかけとなりました。武士が土地の支配だけでなく、貿易という経済活動を通じて富を蓄えた点が特徴的です。                                               |
| 問8  | 答え 4<br>源氏物語                                                | 平安時代には、漢字を日本風に崩した「かな文字」が普及したことで、貴族の女性らによる優れた文学作品が多く誕生しました。一条天皇の後である彰子に仕えた紫式部は、当時の貴族社会の人間模様を精密に描いた『源氏物語』を執筆しました。これは全54帖からなる壮大な長編小説であり、日本を代表する古典文学として知られています。                          |
| 問9  | 答え 4<br>国風文化                                                | 遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発展しました。これを国風文化と呼びます。この時代、万葉仮名を崩したり一部を取ったりすることで、日本独自の文字である「かな文字」が生まれ、和歌や物語などの文学が発展する大きな要因となりました。                                                      |
| 問10 | 答え 2<br>奈良の寺院勢力などの宗教勢力が政治に介入することを防ぎ、律令制に基づいた天皇の権威を回復しようとした。 | 当時の天皇は、平城京の寺院勢力と政治が結びつきすぎていた弊害を重く見ていました。そこで、都を山背国の平安京に移すことでこれまでのしがらみを断ち、政治改革を推進しようしました。同時に、軍団の廃止（健児の導入）や勘解由使（かげゆし）の設置など、地方政治の腐敗を防ぐための具体的な改革も並行して行われました。                              |
| 問11 | 答え 3<br>寝殿造                                                 | 平安時代の中期、日本独自の風土や感覚に合わせた国風文化が栄えました。この時期、貴族の邸宅として用いられた建築様式は「寝殿造」と呼ばれます。池を中心とした庭園を囲むように、中心となる建物（寝殿）と、そこから伸びる廊下（渡殿）でつながれた開放的な構造が大きな特徴です。                                                 |
| 問12 | 答え 4<br>浄土信仰                                                | 摂関政治の全盛期には、社会の混乱や末法思想の影響により、念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ行くことを願う「浄土信仰（浄土教）」が流行しました。藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂は、この極楽浄土の様子を地上に再現しようとしたものと言われています。                                                      |
| 問13 | 答え 1<br>摂関政治                                                | 藤原氏は他氏を排斥するとともに、娘を天皇の后にして生まれた子（外孫）を天皇に即位させることで、強力な親戚関係（外戚関係）を築きました。天皇の代行者である摂政や、補佐役である関白の職を独占したことから摂関政治と呼ばれます。11世紀前半の道長・頼通の親子二代の時期にその全盛期を迎えました。                                      |
| 問14 | 答え 1<br>貴族間の対立を解決するために武力が必要とされた結果、武士が政治権力を握るきっかけとなった。       | 保元の乱は、それまで貴族の警護役などに過ぎなかった武士が、国家の最高権力者を決める争いの決着を左右した事件です。この乱を通じて「武士の力なくしては政治が行えない」ことが明らかになり、平清盛による平氏政権や、その後の鎌倉幕府の成立へとつながる武家社会の先駆けとなりました。                                              |